

宮崎県感染症週報

宮崎県感染症対策課・宮崎県衛生環境研究所

令和4年第24週の発生動向

トピックス

・新型コロナウイルス感染症 (新型インフルエンザ等感染症) の報告が1,034例あり、2022年の累積報告数は50,343例となった。

全数報告の感染症 (24週までに新たに届出のあったもの)

1類感染症：報告なし。2類感染症：結核4例。3類感染症：報告なし。4類感染症：報告なし。
5類感染症：ウイルス性肝炎1例、急性脳炎2例、梅毒2例、破傷風1例。

	疾患名	報告保健所	年齢群	性別	病型・類型	症状等
2類	結核	宮崎市	60歳代	女	無症状病原体保有者	なし
			80歳代	男	結核性胸膜炎	なし
		日南	60歳代	女	無症状病原体保有者	なし
		高鍋	50歳代	男	肺結核	咳、痰
5類	ウイルス性肝炎	宮崎市	40歳代	男	B型	全身倦怠感
	急性脳炎	宮崎市	0~4歳	男	HHV-6	発熱、痙攣、意識障害
			0~4歳	男	HHV-6疑い	発熱、痙攣、意識障害
	梅毒	宮崎市	20歳代	女	無症状病原体保有者	なし
			20歳代	男	早期顕症梅毒Ⅱ期	梅毒性バラ疹
破傷風	日南	80歳代	男	—	筋肉のこわばり、開口障害、嚥下障害、発語障害、易興奮性、反弓緊張	

新型インフルエンザ等感染症 (24週に新たに届出のあったもの)

○新型コロナウイルス感染症 1,034例：保健所、年齢別報告数及び主な症状は表のとおりであった。

居住地保健所	報告数	年齢群											症状
		10歳未満	10歳代	20歳代	30歳代	40歳代	50歳代	60歳代	70歳代	80歳代	90歳代	100歳代	
宮崎市	366例	63	90	43	55	49	31	17	11	7	—	—	発熱、咳、頭痛、全身倦怠感、咽頭痛等
都城	251例	66	38	37	35	35	12	13	4	7	4	—	
延岡	96例	13	27	9	22	14	7	3	—	1	—	—	
日南	94例	17	23	8	15	15	8	5	2	1	—	—	
小林	26例	7	1	5	2	6	1	—	—	3	1	—	
高鍋	64例	11	14	4	7	8	6	7	4	2	1	—	
高千穂	10例	—	—	—	1	—	1	2	2	2	2	—	
日向	114例	38	25	7	20	16	4	1	3	—	—	—	
中央	6例	1	2	1	1	—	1	—	—	—	—	—	
県外	7例	2	1	—	1	1	1	—	1	—	—	—	

定点把握の対象となる5類感染症

・定点医療機関からの報告総数は323人(定点当たり9.0)で、前週比119%と増加した。なお、前週に比べ増加した主な疾患はRSウイルス感染症、感染性胃腸炎及び手足口病で、減少した主な疾患は水痘であった。

★インフルエンザ・小児科定点からの報告★

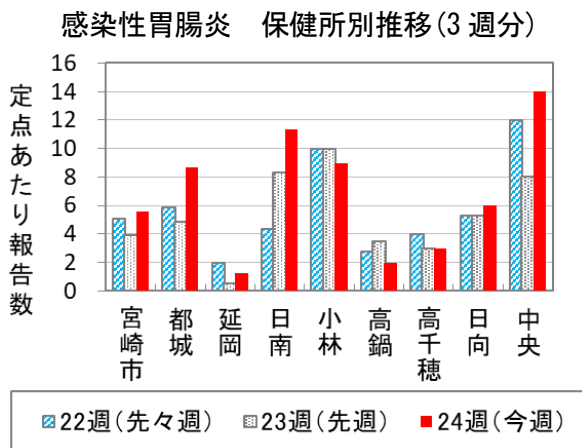
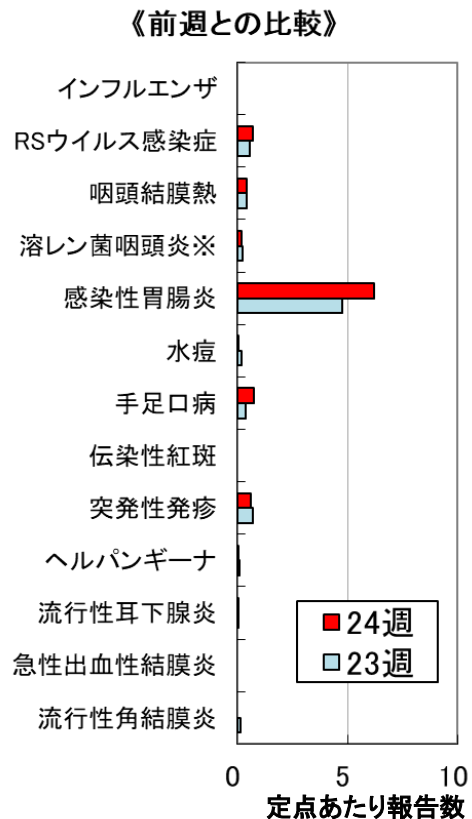
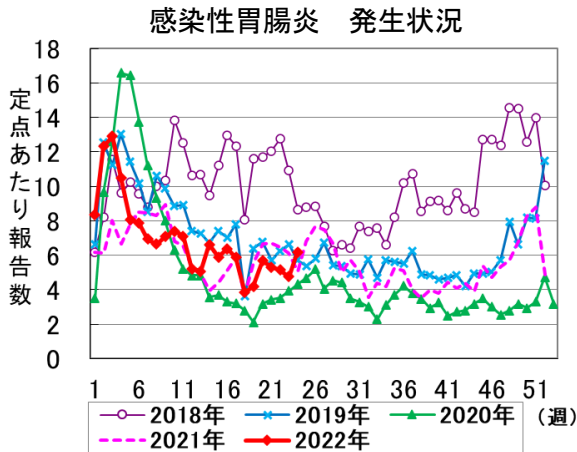
【感染性胃腸炎】

報告数は223人(6.2)で、前週比130%と増加した。例年同時期の定点あたり平均値*(6.6)の約0.9倍であった。中央(14.0)、日南(11.3)、小林(9.0)保健所からの報告が多く、年齢群別は1歳から3歳が全体の約半数を占めた。

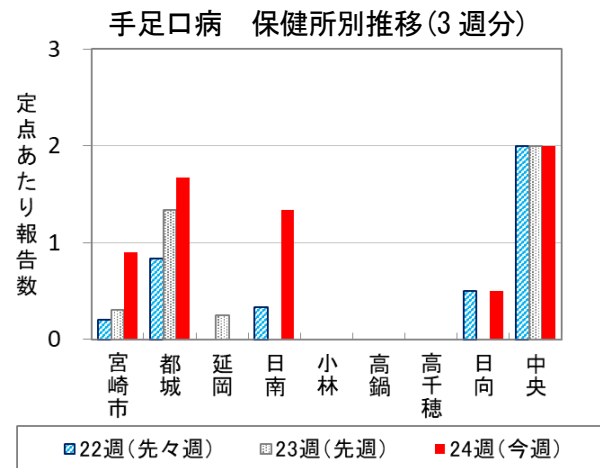
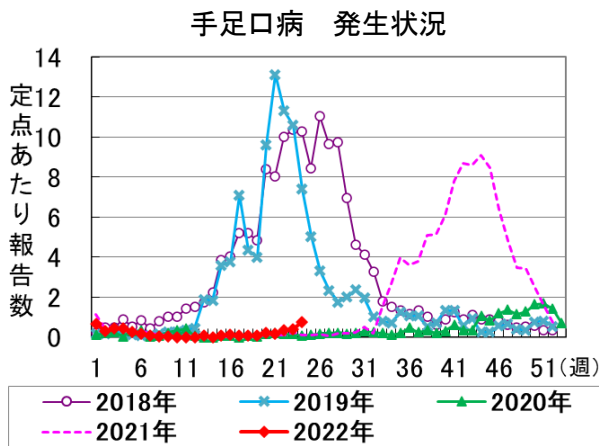
【手足口病】

報告数は27人(0.75)で、前週比193%と増加した。例年同時期の定点あたり平均値*(4.7)の約0.2倍であった。中央(2.0)、都城(1.7)、日南(1.3)保健所からの報告が多く、年齢群別は1歳から2歳が全体の約9割を占めた。

* 過去5年間の当該週、前週、後週(計15週)の平均



※ A群溶血性レンサ球菌咽頭炎



★基幹定点からの報告★ なし

★保健所別 流行警報・注意報レベル基準値以上の疾患★ なし

□病原体検出情報（衛生環境研究所微生物部 令和4年6月20日までに検出）

★細菌

同定細菌名	年齢	性別	採取月日	臨床症状等	検出材料	同定日
EPEC(OUT:H21)	5～9歳	男	2022.05.17	発熱(38.2℃)胃腸炎(水様性下痢、嘔気、嘔吐、腹痛)	便	2022.05.27
EPEC(OUT:H21)	5～9歳	男	2022.05.19	発熱(38.1℃)胃腸炎(水様性下痢、嘔気、嘔吐、腹痛)	便	2022.06.02
Salmonella Thompson(O7:k:1,5)	0～4歳	男	2022.05.24	発熱(39.1℃)、胃腸炎(水様性下痢、腹痛)	便	2022.06.01

○2名から腸管病原性大腸菌（EPEC）が分離された。EPECの判定基準はeae（インチミン遺伝子）陽性の大腸菌で、ST/LT/VTを持たない大腸菌とされる。EPECは細胞に強固に接着することで小腸の微絨毛などを破壊して下痢を引き起こす。乳幼児においては、しばしば重症化コレラ様の脱水症状が見られることもある。EPEC感染症は、成人においても発生し、食中毒の起原菌となる場合もある。

★ウイルス

同定ウイルス名	年齢	性別	採取年月日	臨床症状等	検出材料	分離・検出日
ライノウイルス	0～4歳	男	2022.04.13	急性気管支炎、38.0℃、下気道炎(気管支炎)	鼻汁	2022.06.07
ヒトヘルペスウイルス6	0～4歳	女	2022.04.18	エンテロウイルス疑い、38.5℃、発疹	咽頭ぬぐい液	2022.06.07

✚ 全国 2022 年第 23 週の発生動向

□ 全数報告の感染症

1類感染症	報告なし					
2類感染症	結核	237 例				
3類感染症	腸管出血性大腸菌感染症	62 例				
4類感染症	E型肝炎	11 例	A型肝炎	3 例	重症熱性血小板減少症候群	5 例
	つつが虫病	4 例	日本紅斑熱	8 例	マラリア	1 例
	レジオネラ症	46 例				
5類感染症	アメーバ赤痢	8 例	ウイルス性肝炎	2 例	カルバペネム耐性腸内細菌感染症	21 例
	急性脳炎	6 例	クロイツフェルト・ヤコブ病	2 例	劇症型溶血性レンサ球菌感染症	10 例
	後天性免疫不全症候群	7 例	侵襲性インフルエンザ菌感染症	1 例	侵襲性肺炎球菌感染症	16 例
	水痘(入院例)	4 例	梅毒	159 例	播種性クリプトコックス症	2 例
	破傷風	4 例	バンコマイシン耐性腸球菌感染症	2 例	百日咳	4 例

□ 定点把握の対象となる5類感染症

定点医療機関当たりの患者報告総数は前週比 103%とほぼ横ばいであった。なお、前週と比較して増加した主な疾患はRSウイルス感染症、咽頭結膜熱及びヘルパンギーナで、減少した主な疾患は水痘であった。

咽頭結膜熱の報告数は1,311人(0.42)で前週比 117%と増加した。例年同時期の定点当たり平均値*(0.60)の約 0.7 倍であった。鹿児島県(1.2)、富山県(1.1)、新潟県、三重県(0.84)からの報告が多く、年齢群別では6ヵ月から3歳が全体の約 9 割を占めた。

感染性胃腸炎の報告数は17,049人(5.4)で前週比 102%とほぼ横ばいであった。例年同時期の定点当たり平均値*(4.9)の約 1.1 倍であった。大分県(7.5)、島根県(7.4)、鹿児島県(7.1)からの報告が多く、年齢群別では1歳から4歳が全体の約 6 割を占めた。

* 過去5年間の当該週、前週、後週(計15週)の平均

宮崎県 感染症情報

(71定点医療機関)

2022年 第24週(06月13日～06月19日)

疾病名	第23週	第24週	宮崎市	都城	延岡	日南	小林	高鍋	高千穂	日向	中央
インフルエンザ	報告数										
	定点当り	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
RSウイルス 感染症	報告数	20	25	4	1	7		4		9	
	定点当り	0.56	0.69	0.40	0.17	1.75	0.00	1.00	0.00	2.25	0.00
咽頭結膜熱	報告数	15	15	4	4	6		1			
	定点当り	0.42	0.42	0.40	0.67	1.50	0.00	0.25	0.00	0.00	0.00
A群溶血性 レンサ球菌咽頭炎	報告数	8	7			1	5				1
	定点当り	0.22	0.19	0.00	0.00	0.25	1.67	0.00	0.00	0.00	1.00
感染性胃腸炎	報告数	171	223	56	52	5	34	27	8	3	24
	定点当り	4.75	6.19	5.60	8.67	1.25	11.33	9.00	2.00	3.00	6.00
水痘	報告数	7	1		1						
	定点当り	0.19	0.03	0.00	0.17	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
手足口病	報告数	14	27	9	10		4			2	2
	定点当り	0.39	0.75	0.90	1.67	0.00	1.33	0.00	0.00	0.50	2.00
伝染性紅斑	報告数										
	定点当り	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
突発性発しん	報告数	25	22	7	5	3	1		2	1	3
	定点当り	0.69	0.61	0.70	0.83	0.75	0.33	0.00	0.50	1.00	0.75
ヘルパンギーナ	報告数	3	2		1			1			
	定点当り	0.08	0.06	0.00	0.17	0.00	0.00	0.33	0.00	0.00	0.00
流行性耳下腺炎	報告数	2	1			1					
	定点当り	0.06	0.03	0.00	0.00	0.25	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
急性出血性結膜炎	報告数										
	定点当り	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00					
流行性角結膜炎	報告数	1									
	定点当り	0.17	0.00	0.00	0.00	0.00					
細菌性髄膜炎	報告数										
	定点当り	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
無菌性髄膜炎	報告数										
	定点当り	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
マイコプラズマ 肺炎	報告数										
	定点当り	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
クラミジア肺炎	報告数										
	定点当り	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
感染性胃腸炎 (ロタウイルス)	報告数										
	定点当り	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00

インフルエンザ定点:58、小児科定点:36(インフルエンザ定点を兼ねる)、眼科定点:6、基幹定点:7

●全数把握対象疾患累積報告数(2022年 第1週～24週)

2類感染症	結核	52例(4)		
3類感染症	腸管出血性大腸菌感染症	4例		
4類感染症	E型肝炎	1例	重症熱性血小板減少症候群	6例
	レジオネラ症	1例		つつが虫病
5類感染症	アメーバ赤痢	1例	ウイルス性肝炎	3例(1)
	急性脳炎	2例(2)	劇症型溶血性レンサ球菌感染症	1例
	侵襲性肺炎球菌感染症	7例	水痘(入院例)	2例
	播種性クリプトコックス症	2例	破傷風	4例(1)
新型インフルエンザ 等感染症	新型コロナウイルス感染症	50343例(1034)	カルバペネム耐性腸内細菌感染症	3例
			後天性免疫不全症候群	2例
			梅毒	36例(2)
			百日咳	8例

()内は今週届出分、再掲